



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No. 7
令和5年 5月23日
文責：校長 齋藤和彦

熱中症予防 ～水分補給～



先週は、とにかく暑かった。
運動会間近でもあり、持参した水筒の水が、午前中に空っぽになる子が続出しました。

Ｔ)「水筒が空になった子は、水道の水を入れて飲みなさい。」

すると、「えっ？水道の水..飲めるの？」
「水道の水って、飲んでいいんですか？」
(※驚きました。)～震災からこの方..水道水への不安や心配から、子ども達は水筒からの水しか飲んでこなかったのでしょう。

教室で全体に聞いてみると、26人の中、半分の子が、「飲んではいけない」に挙手。
“日本の水道水は世界No.1に安全で、美味しく、浄水場の技術も世界トップクラスであること”(しかも、外国の人は、飲食店で出されるお水もお茶もタダに、驚き!)を話しました。

もしかしたら、家に帰って「本当に？」お母さんに聞いた子もいるかもしれません。

- ◆ 学校でも熱中症対策に十分配慮します。
- ・ エアコン利用・水分補給・外活動の制限
- ・ 運動中の水分補給と休憩・健康観察 等

薫小の強み(職員の力=意識)

職員の出張や休みが重なると、学級授業への補欠体制が組まれます。職員数に限りある中、管理職も総出でその体制を組みます。

それでも埋まらない日もある。そんな時、「複数学級かけ持ち指導の離れ業」や「空き時間返上で補欠授業志願」「自分の学級児童に課題学習指示をして、下学年指導優先に」

また、休み時間の児童間トラブルに、「他学年の子でも親身に話を聞き、寄り添う職員」

・ ・ ・このような【全職員で薫の子を育てる】薫職員の意識が、学校の【安全・安心・信頼】を支えています。『薫小の強み(自慢)』です。

『子どもが、まだ帰ってきません..』への職員緊急出動の迅速/適切な動きも同様です。

新年度“まだ帰ってきません事案”は、4件ありましたが、いずれも無事を確認しました。

＜あらためて下校先の確認のお願いです＞

- ◎ お子さんに下校先を確実に知らせる
- ◎ お子さんへ確認と担任への連絡帳伝達
- ◎ 複雑な下校先変更をできる限り避ける

▼ できる限り、事前に児童行方不明事案を回避し、児童安全を守りたいのです。

◆◇ 校長室より ◇◇ 「運動会のおもいで」

ぼくは、初めて運動会の係：体育主任になりました。もう30年も前の記憶です。

全体練習の仕方もよく分からなかったけれど、とにかく一生懸命やりました。(当時は行進練習があった)「そんな指示ではダメだ！」子どもや先生方の前で、校庭のド真ん中で、何度もなんども教頭先生に注意され(指導され)ながら...なんとか運動会前日に漕ぎつけ、前日準備終了。明日の予報は「雨」。

当日の朝、教頭先生は、朝4時前に、ぼくのアパートの戸を叩きました。

「齋藤さん行くぞ！早く車に乗れ！今日の運動会は、絶対やるからな！」(教頭先生の車で学校へ)学校につくと、土砂降りの校庭には、川が何本も流れています。絶望的な光景でした。

教頭先生は、「教室中の雑巾を校庭に落とせ！」二人で雑巾を校庭に貼り付け、バケツを何十個も置き、親指の皮がむけるほど雑巾を絞り続けました。体育部集合時刻に先生方も続々集まりました。

近所の保護者が、寝ていたマットレスのスポンジを裂いて持って来てくれました。6年生が親に連れられて3人..5人..と増えてきました。6時前だというのに、保護者のお母さん達が、おにぎりを山ほど持ってきてくれました。(運動会用のお弁当だったことは、後で知りました。)

宇津峰山の上にかかる雲が明るくなってくると、教頭先生は得意気でした。

1時間ほど遅れて開会の花火が打ち上げられました。指揮台の上から目にする...入場行進の先頭を歩く6年生のどろんこの運動着や運動靴がまぶしいほどにかっこよかったことを忘れません。

PTAの父ちゃんたちと一緒に、女の先生方もぬかるみに砂入れをし続けながら、子どもの演技種目は全て実施できました。終了後、職員室での体育主任挨拶は、泣けてきて言葉になりませんでした。

教頭先生は、タバコを吸いにか...黙って職員室を出て行きました。(教頭先生には今も感謝しかありません)

ぼくは、運動会が近づくと、この学校で一緒に仕事をした先生方(子ども・保護者)を思い出します。

もうすぐ、薫小の運動会です。きっと、みんながんばります。力の限りがんばった自分！

友だちを応援し続けた自分！ 係活動をやり遂げた自分！ 486人の薫の子の...

それぞれの胸に、「それぞれの1等賞」が輝く、すてきな運動会になったらいいですね。

(やっぱり運動会は、☀晴れるといいなあ...)

